

大玉トマト向けBSプログラム

(株)ハイポネックスジャパン

時 期		3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
関東 大玉トマト 夏秋作型		育苗期																										
		定植期																										
		生育期																										
		収穫期																										
商品	施用																											
マイコジェル 【ジェル状菌根菌】 育苗期～定植時まで	倍率	1,000～2,000倍、100ml/反						※マイコジェルはライゾーと混用可																				
	間隔	1回のみ																										
	施用方法	育苗時灌注 定植時どぶ漬け、定植後灌注																										
ライゾー 【根張り促進型肥料】 育苗期～収穫終了まで	倍率	3,000～5,000倍						100g/反																				
	間隔	7～10日間隔で定期施用																										
	施用方法	育苗時灌注 定植時どぶ漬け						灌注																				
バタヨンNew 【高濃度フルボ酸液肥】 定植期～生育前半	倍率					500ml～1L/反																						
	間隔					7～10日間隔で定期施用																						
	施用方法					灌注																						
ボンバルディア 【アミノ酸、フルボ酸有機活力液肥】 生育期～収穫期	倍率											500ml～1L/反、1,000倍																
	間隔											10～14日間隔で定期施用																
	施用方法											灌注、葉面散布																
商品	施用																											
グリバテン 【裂果軽減、カルシウム、ホウ素供給】 水分ストレスを受ける前から	倍率																	500倍										
	間隔																	7～10日間隔で定期施用										
	施用方法																	葉散時混用散布										
シーウェックスNew 【ストレス軽減、光合成促進】 高温によるストレス時	倍率																	2,000～3,000倍										
	間隔																	7～10日間隔で定期施用										
	施用方法																	葉散時混用散布										
フォスビットK 【亜リン酸液肥】 開花、肥大の促進に	倍率									1,000～2,000倍、500ml～1L/反																		
	間隔									7～10日間隔で定期施用																		
	施用方法									葉面散布、灌注																		

※石灰硫黄合剤や銅剤、浸透移行性の強い農薬との混用はお避け下さい。